

第(大)

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [REDACTED]

現住所 本籍地ニ同シ

所屬部隊 第二六九部隊

徵集年形 一八 氏名 [REDACTED] 官等級 陸軍上等兵

右ノ者昭和三十年五月二十日 時

分^{被擧グ}隊^ニ於^テ不^明ニ依^リ戰傷
病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十一年十二月十五日
所屬部隊 獨立歩隊三五八隊 職名 兵 官等級 陸軍上等兵

氏名 [REDACTED]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等列シタルモノハ簡記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、探偵手等ト詳記ス

39-11

死亡者現認證明書

本籍

部隊

鐵道第八聯隊

(威二二四四)

ニ中隊ニ出陣

元

豫 (鉄) 上等兵

(伍長に道取せしめを通告)

右者 昭和二十一年五月二十日、ルンニ島、マニラ東方山嶺
地帯の戦闘に於て戦死せる事を現認す

昭和二十一年八月二十五日

現認者

住所

部隊

鐵道八聯隊ニ中隊

元陸軍伍長

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戶主名續柄

氏名

年 月 日生

二、所屬

團

連

隊

班

名

第

部隊

隊

三、戰死者召集年月

日

年

月

日

戰死前官等

陸軍

兵種

步兵

死亡年月日

年

月

日

四、戰死年月日時及場所

昭和二十一年五月二十日

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

五、戰死現認ノ程度

確

定

六、遺骨歸還ノ有無

ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

敵

中

ニ

切

込

ミ

ニ

出

下

歸

ラ

ズ

八、死亡區分

戦死

事由

發病年月日

昭和

年

月

日

九、其ノ他

事項

（申立済ナシ）

上陸年月日

及上陸地

十、遺族ノ現在所

遺族者ノ續柄

氏名

右ノ通り戰死

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

マラ

南方

昭和二十一年

月

日

證明者住所

遺死者ノ關係

所屬部隊名

兵種

官等

陸軍

步兵

兵長

市町村長證明箇所

氏名

右相違



戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名続柄

戸主

氏名

二男

日生

三、所属

部隊名

派遣

部隊

陸軍

三、戦死者従軍年

昭和

年

月

日

昭和

年

月

日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和

年

月

日

時

分

秒

場所

五、戦死原因

戦死

原因

不明

不明

不明

不明

不明

不明

六、遺骨歸還

有

無

不明

不明

不明

不明

不明

不明

七、戦死當時状況概要

戦死

當時

状況

不明

不明

不明

不明

不明

八、死亡区分

戦死

区分

不明

不明

不明

不明

不明

不明

九、其他

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

戦死者ノ現住所

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

戦死者ノ続柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和

年

月

日

證明者住所

戦死者ノ關係

所属部隊名

兵種 砲兵 官等 陸軍 大尉

氏名

印

市町村長證明可

所屬 酒部 隊 第百七十五 部隊 本籍	姓名 野尻 伍長	生年月日 昭和二十年五月二十日	死亡事由 爆彈破片創	遺留品 無	遺族の氏名 野尻 氏	承継人 野尻 氏	知人の氏名 野尻 氏	死亡の理由 戦死	現住所 鹿児島県 鹿屋市 鹿屋 町 〇〇番地	所屬部隊 第百七十五 部隊
						本籍 鹿児島県 鹿屋市	死亡年月日 昭和二十年五月二十日	遺族の氏名 野尻 氏	遺留品 無	遺族の氏名 野尻 氏

死亡証明書

所属部隊	国名	独立自衛隊第三中隊
役種	兵種	隊員
死亡直前の官階	官階	伍長
本籍地	住所	全右
姓名	得氏名	父
死亡年月日	時刻	昭和三年五月二十日
死亡場所	原因	本島之街 丸平川
死亡原因	経過	敵機銃弾の集中に遭ひて戦死
死亡経過	事由	敵機偵察機の丸平川に下りて河川前道中敵機と遭遇し之と激戦中敵機銃弾の集中に遭ひて戦死
備考	備考	無

左証明致す

昭和三年四月十五日

証明官 全右
 理定行 全右
 所長 佐藤三三三 隊員
 官階 伍長 隊員
 死亡直前の官階 伍長
 本籍地 全右

現認証明書

本籍

氏名

生年月日

昭和二十一年一月一日生

右者は昭和十一年漁業移民としてカリフォルニア州サンフランシスコに渡り、サンフランシスコに在住してゐた。

昭和十一年九月日本軍から現地百軍司令部より受けた南支那方面の部隊に、部隊編成後、連隊に從事し、海軍省物産部日本軍部隊に納入してゐた。

昭和十九年十一月原敵機の来襲が激しくなると右連隊は北部ルソノ島サルマーゲ港に移動避難してゐた。昭和二十年一月米軍機が大空来襲、其の爆撃を受け船舶全部を撃沈された。其の後同地駐屯第...

兵団と行動を共にして米上陸軍と心戦し乍らサンクル地帯を各地に移動してゐた。

昭和二十年五月二十日大上が之部落跡に於て其の部隊は米軍との間に激しい遭遇戦が展開され、其の日私の隣に在る...

敵の銃弾を全身にあが即死してゐます。私は右戦及の遺体を処理することゝ出来ず

3月別巻

部隊と共に遁撃を続けるしか出来なかつた。
 昭和二十一年八月終戦後母もなく敵機による激
 日本への敵を知ること出来ずしが投降せず
 戦火の地帯を移動して一帯が同年の十月迄に在りて
 一帯の地帯で未軍の捕虜に与りしに
 以上の状況下で私共は殆どが栄養失調状態に
 あり一帯の捕虜と同様に野戦病院に収容され
 南から北へ、カニルバ、カニルバと移され、カニルバ
 から日本の病院船につくし号丸に乗船浦賀に上陸私
 昭和二十一年一月復員しました。

以上の通り、[redacted]の戦死も復認証明致し奉
 昭和二十一年七月 [redacted]

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現在所

所屬部隊

野砲兵大隊

徵集年

官等級

兵

右ノ者昭和三十年五月二十日 北時

分隊勤務中に於て戰傷に依り戰傷

死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十年五月二十日

所屬部隊野砲兵大隊 姓名野砲兵

官等級伍長

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判別シタルモノハ詳細ニ
一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳細ニ

50-11

正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年
正 亡 名	國 名	昭 和 三 年	昭 和 三 年	昭 和 三 年

昭和三年三月十一日

昭和三十二年

昭和三十二年

211例

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月廿一日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付為念

所屬部隊	死	事由	現認	氏名	本籍
成九九七部隊	昭二〇 五月 二二日	迫込砲ノ集 中破火ニ依リ 戦死ス	現役	夫長	右全止
北見現遺	昭二〇 五月 二二日	迫込砲ノ集 中破火ニ依リ 戦死ス	現役	夫長	右全止
昭二〇 五月 二二日	昭二〇 五月 二二日	昭二〇 五月 二二日	昭二〇 五月 二二日	昭二〇 五月 二二日	昭二〇 五月 二二日

右現認ス

現任所

北見現遺 成九九七部隊

官等後援者印 陸軍曹長

印

21223 村文

7-13

21用

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月廿一日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件ノ左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シテラサルニ付爲念

所屬部隊	比島派遣	死	時日	場所	事由	認察	氏名	本籍
	威丸九七部隊	五月三日	三軒及	戦死ス	神夫	兵長	右今	父

右現認ス

現任所

所屬部隊

陸軍曹長

21.7.25
*4301
付

1-11

241

號

戰時死者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月廿一日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニテ當部ニ於テ公報等處理シテアラサルニ付爲念

所屬部隊	死	場所	事由	現認	氏名	本籍
陸軍九師団	昭二	不名ノ中	迫出死	現認	矢長	留置者現住所
右現認						

現任所 陸軍九師団 司令部 留守業務部長

21.2.23 和 4206 付受

6-11

1009

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [REDACTED]

現住所

所屬部隊 野砲兵第六隊

徵集年

官等級 少長
氏名 [REDACTED]

右ノ者昭和二十一年五月二十五日 時

分屯地ニ於テ戦死シテ依リ戦場

病死シタルニトシテ證明(現認)ス

昭和二十一年五月九日

所屬部隊

職名 野砲兵第六隊

官等級 少長

氏名 [REDACTED]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス

一、職名ハ中、小隊長、砲手、探察手等ト詳記ス

27-11

現認者元

比高城邊成第廿七卷五部隊空小隊

陸軍衛生兵長

有者昭初 二年 五月三十一日

比高城邊成第廿七卷五部隊空小隊
上級方三〇將附任
ニ於テ

頭部首通鏡勝 二依リ戰死(軍醫)也 七二二一ヲ現認ス

昭和二十二年 五月十五日

現認者元 成第廿七卷五部隊空小隊陸軍中尉

現注所

氏名

[Redacted]

印

現認明者

本稿

折屬部隊

此為源遠成第一四五部隊

陸軍

上等兵

加者昭和二十五年五月三日午後五時ハソノ為ニ於テ敵機銃ニテ
戦死シタル事實ヲ証明ス

昭和二十五年一月三日

本稿

現認明

云々

西三部隊

大隊

中隊

陸軍

兵長

右現認明者ノ通リ相違無キ事ヲ証明ス
昭和二十五年 月 日

100-11

現認證明書

本籍地

所屬部隊

一 死亡年月日時

一 死亡場所

一 死亡原因

一 病名

昭和二十一年八月五日、在... 死亡... 戦病死... 昭和二十一年八月五日、在... 死亡... 戦病死... 昭和二十一年八月五日、在... 死亡... 戦病死...

現認者

昭和二十一年八月五日

階級

姓名

署名

死亡者名簿

死亡者名	所屬	籍貫	年役	兵種	官等	死亡前	死亡場所	死亡年月日時	死亡原因	傷病名
元所屬麻	元所屬麻	元所屬麻	元所屬麻	元所屬麻	元所屬麻	元所屬麻	元所屬麻	昭和二十年五月二十三日	戰死	肩及腹部負傷

昭和二十年五月二十三日

元所屬麻
元所屬麻
元所屬麻

課長

係長

主任

職 級 者 備 註 證 明 書

昭和22年8月28日

固有部隊名

南航路 2334号

通稱號

隊一五九二

死亡階級

死亡後階級

徵 集 年

役 種

兵 種

年 月 日 生

本 籍 地

[Redacted]

留守擔當者

[Redacted]

現 任 所

[Redacted]

死亡日曜分

右の者昭和20年5月7日午後2時0分ソラノ谷に於て

場所事由

砲撃に依り死せしことを確認す

1. 遺骨

3. 證據書類

2. 遺留品

4. 其の他

現認

依認

(通知)

現住所

[Redacted]

所属部隊

南航路

製 者

重宝に於け

係長

(課別)